

PRESS RELEASE



尚綱学院大学

Passion with Mission

熱い心、響かせる

リリース日：2019年11月12日

タイトル：地域教育・研究センター第2回公開講座

「東北から災害復興を考える」のご案内

報道関係者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より本学院の教育へご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

尚綱学院大学は、専門性を活かし合い、東北を「持続可能な社会」として次世代に引き継いでいくことを目指し、「尚綱SDGs Action」プロジェクトを展開しており、その一環として、地域教育・研究センターでは、「**東北から災害復興を考える**」をテーマに連続公開講座を開催しています。

震災直後から放送が続く「被災地からの声」(NHK 仙台局制作)。今まで約4,400人の被災者が、カメラの前で思いを吐露しました。**復興政策やルール作りを論じる政治家や学識経験者は多いですが、どれも決定的に「個」の視点が欠けています。**実際に1人1人の被災者と対面して現状を把握する作業は時間と労力が必要で、それは主に報道の仕事です。番組で取材した内容から、**復興において見落とせない“個の思い”を考えます。**

第2回目の講座は、NHK 仙台放送局アナウンサー 津田 喜章 氏を講師に、11月20日(水)18時からエル・ソーラ仙台大研修室を会場に開催いたします。つきましてはお忙しい時期とは存じますが、是非取材頂き、報道下さいますよう宜しくお願いします。

記

【日 時】

11月20日(水)18:00~20:00(受付17:30)

【会 場】

エル・ソーラ仙台 大研修室

※仙台市青葉区中央1-3-1 AER28階(JR 仙台駅から徒歩2分)

【内 容】

詳細は裏面参照

<本件に関する問い合わせ先>：尚綱学院大学政策企画室(佐藤)
TEL 022-381-3302 Email: seisaku@shokei.ac.jp

日時

11月20日(水)

18:00-20:00

(受付17:30)

会場

エル・ソーラ仙台
大研修室

仙台市青葉区中央1-3-1 AER28階
(JR仙台駅から徒歩2分)

講師

NHK仙台放送局

アナウンサー

つだよしあき

津田喜章氏



1972年宮城県石巻市生まれ(東日本大震災では実家も被災)。

石巻高校、北海道大学農学部を卒業し、1997年にNHK入局。2005年から仙台局に勤務。

「ウィークエンド東北」や「こんばす東北の課題」などのニュース情報番組、討論番組のキャスターを経て、東日本大震災の9日後から「被災地からの声」のキャスターを担当。岩手・宮城・福島被災地に暮らす人々の声に耳を傾けてきた。これまで4,400人以上の被災者が番組に出演した。

尚綱
SDGs
Action

震災直後から放送が続く「被災地からの声」(NHK仙台局制作)。今まで約4,400人の被災者が、カメラの前で思いを吐露しました。復興政策やルール作りを論じる政治家や学識経験者は多いですが、どれも決定的に「個」の視点が欠けています。実際に1人1人の被災者と対面して現状を把握する作業は時間と労力が必要で、それは主に報道の仕事です。番組で取材した内容から、復興において見落とせない「個の思い」を考えます。

入場無料

定員60名

要申込

現場報道が汲みとる被災者の思い

“個”を見つめる重み

尚綱学院大学 地域教育・研究センター
第2回公開講座「東北から災害復興を考える」

尚綱学院大学は、専門性を活かし合い、東北を「持続可能な社会」として次世代に引き継いでいくことを目指し、「尚綱SDGs Action」プロジェクトを展開しています。

尚綱学院大学 地域教育・研究センターでは、「東北から災害復興を考える」をテーマに連続公開講座を開催します。

申込方法について

下記URLの申し込みフォームにて、必要事項を11/15までに入力してください。
<https://forms.gle/bGVP3QFESMdd7wEq5>

お問い合わせについて

尚綱学院大学政策企画室 佐藤
Tel 022-381-3302 Fax 022-381-3325



尚綱SDGs Action

尚綱学院大学は、東北を「持続可能な社会」として次世代に引き継いでいくためSDGsを推進しています。

※SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された、2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」のことです。17のゴール・169のターゲットから構成されています。



尚綱学院大学

Passion with Mission

熱い心、響かせる